

日時 令和6年2月21日(水) 13時30分～14時30分

場所 事務局2階 大会議室

【一部の構成員等(※を付した者)はオンラインで出席】

出席者 伊藤(正)学長

鶴原、酒井、吉岡、木下 各理事

池田、佐久間、尾西、富樫※、藤田、村田、金子※ 各副学長

藤田(伸)、堀、森、松村、諏訪部 各学部長・研究科長

遠山、秋元、野阪、久保※、神原 各評議員

欠席者 西岡、田中 各理事

今西、小林 各副学長

伊藤(信)学部長

陪席者 服部、小川 各監事

企画総務部長、財務部長、学務部長、施設部長、研究・地域連携部長、国際・情報部長、

医学・病院管理部長

企画総務部総務チーム

## ◎前回議事概要の確認

学長から、事前に照会した令和5年度第12回教育研究評議会議事概要(案)について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

## I. 審議事項

### 1. 全学センター等組織の体制について

鶴原理事、吉岡理事及び酒井理事から、「資料：審-1」に基づき、教育研究組織体制の明確化、教員の研究時間確保及び会議に要する人件費等の経費削減を目的とした全学センター等組織の見直しに関し、教育・学生支援、研究・社会連携及び地域拠点サテライト等のそれぞれの領域について、令和5年12月20日開催の教育研究評議会で示された資料からの変更内容の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

### 2. 国立大学法人三重大学新教育研究拠点設置構想検討委員会規程の新規制定について

吉岡理事から、「資料：審-2」に基づき、JR四日市駅前における本学の新教育研究拠点の設置構想に関し、「国立大学法人三重大学新教育研究拠点設置構想検討委員会」を設置して多角的な視点から検討を行うため、同委員会規程を制定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3. 三重大学アクションプラン2030の策定について  
学長から、「資料：審－3」に基づき、暫定版として策定された「三重大学アクションプラン2030 ver.0」へのパブリックコメントの意見や全学センター等組織の見直しを受け、ver.0を更新し、「三重大学アクションプラン2030」を策定することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
4. 工学部と鳥羽商船高等専門学校との連携プログラムについて  
鶴原理事から、「資料：審－4」に基づき、実践力を身につけた創造的な技術者を養成するため、鳥羽商船高等専門学校と本学工学部とが連携教育プログラムの協定書を締結し、それぞれの教育研究資源を有効活用しつつ教育内容の高度化を図り、大学院入学までを視野に入れたシームレスな教育を行うことについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
5. 三重大学高度情報専門人材育成事業に伴う工学部の改組について  
鶴原理事から、「資料：審－5」に基づき、「令和5年度大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」において「三重大学高度情報専門人材育成事業」が選定されたことを受け、令和7年度から工学部総合工学科情報工学コースの入学定員及び収容定員を増員するとともに、電子情報工学コースを新たに設置することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
6. 三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進計画等の一部改正について  
村田副学長から、「資料：審－6」に基づき、教育研究評議会規程第3条第1項第6号評議員に関する申合せが制定されたこと及び三重大学賞表彰取扱要項が変更されたことを受け、三重大学ダイバーシティ&インクルージョン推進計画及び同アクションプランを現状に即し一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
7. 教員評価制度見直しについて  
尾西副理事から、「資料：審－7」に基づき、評価専門委員会にて検討されている教員評価制度の見直しについて、進捗状況の報告があった。続いて、令和6年度を新制度の検討及び教員への周知期間とし、令和7年度に令和6年度実績に対する評価として新制度を試行・検証した上で、令和8年度から実施することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。  
また、評価結果を昇給に反映することの是非については、各学部・研究科教授会等で意見を照会いただきたいとの依頼があった。
8. 次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）の申請について  
吉岡理事から、「資料：審－8」に基づき、次世代AI分野に資する研究開発に取り組む博士後期課程学生を支援し、新たな価値を創出する優秀な博士人材を輩出するため、「次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」に申請することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

9. 外部資金獲得者へのインセンティブ制度の導入に伴う規程等の改正について  
吉岡理事から、「資料：審－9」に基づき、外部資金獲得者のモチベーション向上による研究の活性化を目的とし、インセンティブ制度である「三重大学外部資金獲得者に対する報奨規程」及び「競争的研究費からの研究代表者等の人件費支出により確保された財源の活用に関する取扱要項」を改正し、外部資金獲得者の処遇改善を図ることについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
10. 人事労務に関する規程等の改正について  
木下理事から、「資料：審－10」に基づき、感染症みらい社会教育研究センターで雇用する教授に10年の任期を付すため、「国立大学法人三重大学における大学教員の任期に関する規程」を改正すること、また研究力の強化を目的に、令和6年度から研究活動マネジメント、研究資金獲得及び産学連携活動等の研究支援業務を専門的に行う専門職（URA）を配置することに伴い、関係規程等を改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
11. 国立大学法人三重大学学則の一部改正について  
木下理事から、「資料：審－11」に基づき、検定料免除の取扱いの見直し、生物資源学部における学科改組、医学部医学科における定員増、全学センター等組織の見直し、休学者の授業料の取扱いの見直し及びURA制度の新設に伴い、本学学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
12. 三重大学大学院学則の一部改正について  
木下理事から、「資料：審－12」に基づき、検定料免除の取扱いの見直し、全学センター等組織の見直し及び専門職大学院設置基準の改正に伴い、本学大学院学則を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
13. 三重大学検定料免除取扱規程の一部改正について  
鶴原理事から、「資料：審－13」に基づき、鳥羽商船高等専門学校と本学工学部とが連携教育プログラムの協定書を締結することを契機に、他の大学や高等専門学校等との協定に基づき受け入れる学生の検定料を免除することができるよう、「三重大学検定料免除取扱規程」を一部改正することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
14. 審査委員会の設置について  
学長から、「資料：席上配付・回収」に基づき、ハラスメント対策委員会において認定されたセクシュアルハラスメント事案について、国立大学法人三重大学職員の懲戒の審査規程第2条第3項に基づき、職員の懲戒にかかる審査委員会を設置することについて説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。  
なお、本件に係る席上配付資料については、本会議後に回収した。
15. その他  
なし

## Ⅱ. 役員会報告

### 1. 令和5年度第22・23・24回役員会について

学長から、令和5年度第22・23・24回役員会について、「資料：役－1、参考1、参考2、参考3」に基づき、報告があった。

## Ⅲ. 報告事項

### 1. 令和5年度学位記授与式挙行日程の変更について

企画総務部長から、「資料：報－1」に基づき、学位記授与式終了後に卒業生を対象とした特別企画を実施するため、令和5年度学位記授与式の開式時刻を繰り上げ、挙行時間を短縮して式典を挙行することについて報告があった。

### 2. 学校推薦型選抜における女子枠の導入について

鶴原理事から、「資料：報－2」に基づき、社会から理工系女性人材の育成が求められている一方、本学工学部の女子入学者比率が低調である現状を受け、令和7年度に新設する電子情報工学コースにおいて、女子を対象とする学校推薦型選抜を実施することについて報告があった。

### 3. 令和5年度業務執行状況（第3四半期）について

木下理事から、「資料：報－3、参考1」に基づき、令和5年度業務執行状況（第3四半期）について報告があった。

### 4. 学生事故防止マニュアルの作成について

鶴原理事から、「資料：報－4」に基づき、授業中の事故を未然に防ぐための注意点や、万が一事故が発生した際の基本的な対応等をまとめ、「学生事故防止マニュアル」を作成したことについて報告があった。

### 5. 第3回三重大学賞の候補者募集について

木下理事から、「資料：報－5」に基づき、第3回三重大学賞の候補者を募集中である旨の周知があった。

### 6. 令和6年度役員・副学長・学長補佐等体制（案）について

学長から、「資料：投影」に基づき、令和6年度の役員・副学長・学長補佐等体制（案）について報告があった。

### 7. その他

なし

以上